



# 環境経営レポート

(対象期間：第13期 2019年9月～2020年8月)

# 優者共栄

作成 2020年 11月 10日

承認	作成
	

長野県 茅野市 豊平 443-2

 株式会社 芳沢スクリーン

## ◀ はじめに ▶

- 今期後半よりコロナ禍に見舞われ製造・営業活動に影響が出ました。そんな中でもエコアクション 21 の活動については、管理者及び指導者のスキルアップ・何のための活動なのかを原点に戻って再確認し“実行”する事の度合いは定着してきております。更なる飛躍を目指し、当社にとってのふさわしいエコアクション 21 を目指したいと思っております。

“考える力・実行する力”を“考える力・直ちに実行する力”にレベルアップし毎期安定した持続可能な社業発展に邁進してまいります。

株式会社芳沢スクリーン  
代表取締役 芳沢 明

### ◆ 事業活動の概要と環境活動実施体制

**事業所名・所在地** 株式会社 芳沢スクリーン  
長野県茅野市豊平 443-2

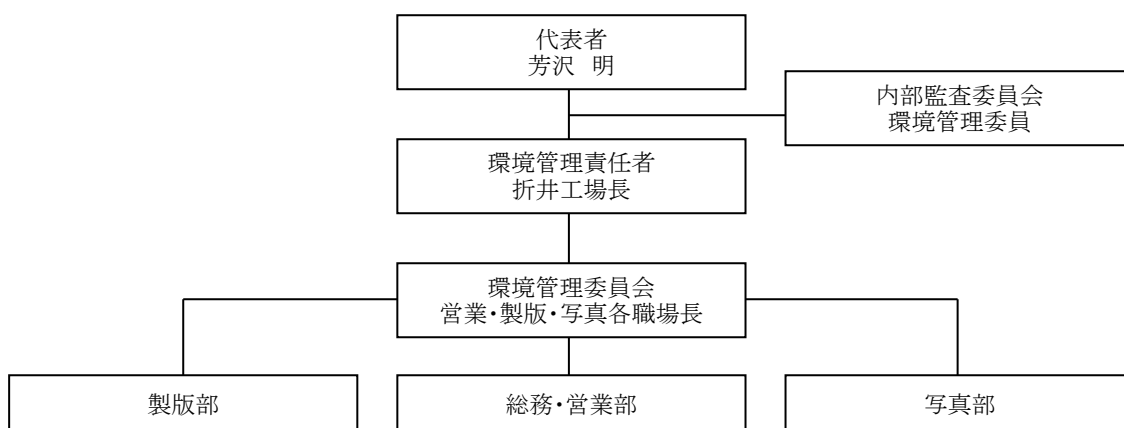
#### 環境保全関係の責任者及び担当者・連絡先

経営者：代表取締役 芳沢 明  
環境管理責任者&事務局：工場長 折井 明  
TEL：0266-73-5568 FAX：0266-72-0035  
E-mail：whole@y-screen.co.jp

**事業活動の内容** スクリーン製版、写真製版、各種インク販売  
サインディスプレイ（看板、標識等の受注及び発注）

**事業規模** 総売上高：256百万円 従業員：21名  
延床面積：1,376m<sup>2</sup> 敷地面積：2,140m<sup>2</sup>

環境活動実施体制(環境マネジメントシステム組織図)



【役割・責任・権限】

	役割・責任・権限
代表者(社長)	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限を持つ ②環境方針を策定し、従業員に周知する ③資源の用意をする ④EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する ⑤環境管理責任者、環境管理委員を任命する
内部監査委員会	①環境目標が達成できているか監査する ②当社が定めたルールに適合しているか監査する ③環境パフォーマンス(実績の数値)が向上しているか第三者的立場から監査の上評価しその結果を代表者及び環境管理責任者に報告する
環境管理責任者	①EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる ②上記の結果を社長に報告する ③EA21文書類の取りまとめをする ④環境管理委員会の委員長としてEMS全般の舵取りを行い、実行を推進する
環境委員会	①EA21環境経営システムを構築し、文書化し、実行を推進する ②環境への負荷の自己チェックを実施する ③環境への取組の自己チェックを実施する ④環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案する
部門長及び全従業員	①自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う ②環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する ③自部門に関連する法規制等を遵守する ④自部門の教育・訓練を実施する ⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする ⑥自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する

## 環 境 経 営 方 針

### 【基本理念】

### 「産業と自然」との共生

環境問題に正面から取り組み  
社会に環境配慮活動を提案し  
社会貢献を実践する。

### 【環境経営方針】

1. 当社の事業活動により生じる環境への影響をしっかりと把握し、継続的改善及び環境汚染防止に努めます。
2. 環境に関しての法律、協定を遵守します。
3. 当社の事業活動によって生じる環境影響については、次の視点から適切な環境目的及び目標を設定し、活動していきます。

環境目的、目標は定期的に見直しを行います。

- ①技術提案、環境提案を拡大する
  - ②省資源、省エネルギーに取り組む
  - ③使用化学物質及び廃棄物を削減し、適正に処理する
  - ④作業環境の安全衛生の向上に伴い、環境汚染防止に務める
4. グリーン購入・グリーン調達を積極的に進めると共に、購入先への要望・要請も合わせて取り組む。
  5. 環境に配慮した製品を生産または販売をします。
  6. 地域周辺への環境保全に配慮し、地域から信頼される事業活動を行います。
  7. 環境経営方針は、全社員に周知徹底し、社外へ公開します。

2018年9月1日

株式会社 芳沢スクリーン

代表取締役 芳沢 明

## ◆ 負荷の自己チェック状況

環境への負荷		単位	第11期 (2017年9月～ 2018年8月)	第12期 (2018年9月～ 2019年8月)	第13期 (2019年9月～ 2020年8月)	
①温室効果ガス(二酸化炭素)排出量		kg-CO <sub>2</sub>	69183	63762	67794	
②廃棄物 排出量	一般廃棄物	焼却	kg	3077	927	481
		埋立	kg	250	217	190
	産業廃棄物	再生利用	kg	1876	3524	4088
		廃酸・廃アルカリ	kg	2800	2200	2400
③-1 総排水量(下水道)		m <sup>3</sup>	623	638	572	
③-2 水使用量(上水)		m <sup>3</sup>	623	638	572	
④化学物質 使用量	ノルマルヘキサン 10%	kg	33	26	24	
	ハイドロキノン 3%	kg	20	21	23	
⑤エネルギー 使用量	購入電力	MJ	1030270	922515	889448	
	化石燃料	MJ	315597	305361	317732	
⑥資源使用量		kg	11759	9780	9845	
⑦サイト内で循環的利用を行っている物質			(なし)			
⑧製品生産量(製版・写真 売上高) 前年比		円	9.09%増	21.54%減	2.25%減	

※ 購入電力の排出係数は2018年度のテプコカスタマサービス株式会社・実排出係数 0.507 kg-CO<sub>2</sub>/kWh の値で計算しました。

## ◆ 環境目標と活動計画における取組内容、及びその結果と次年度の取組内容

■ 紙使用量削減		判定：◎													
中長期目標 基準年 11期全社 0.92kg/百万円 写真部 4.39kg/百万円		<b>【取組内容】</b> ・両面印刷 ・裏紙使用(全社共用使用) ・社内文書データ化 ・写真部 PDF チェック方法のペーパーレス、客先とのペーパーレス化の統一 ・写真部指摘不良件数の低減													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>12期</th> <th>13期</th> <th>14期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全社</td> <td>0.89</td> <td>0.92</td> <td>0.92</td> </tr> <tr> <td>写真部</td> <td>3.59</td> <td>4.39</td> <td>4.39</td> </tr> </tbody> </table>		12期	13期	14期	全社	0.89	0.92	0.92	写真部	3.59	4.39	4.39	<b>【評価(取組結果と次年度の取組内容)】</b> 全社、写真部とも目標達成できました。取組みを継続し、次期目標は全社は現状維持、写真部は前期同様に新規客先での使用量増のため現状維持を継続し状況により見直しが必要な場合見直しをします。	
	12期	13期	14期												
全社	0.89	0.92	0.92												
写真部	3.59	4.39	4.39												
13期全社実績 0.74k g/百万円 13期写真部実績 3.16k g/百万円															

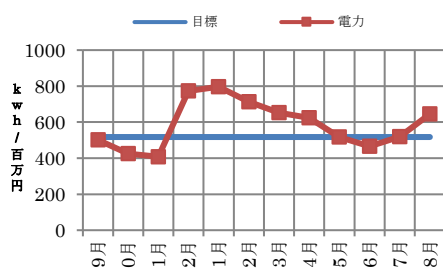
## ■ 二酸化炭素排出量・電力における削減

判定：△

中長期目標 基準年 11期 517.3kwh/百万円  
(製版、写真売上上げ)

12期	13期	14期
517.3	517.3	517.3
見直し	585.4	584.3

13期実績 596.7kwh/百万円



## 【取組内容】

- ・PC電源管理(各自の使用状況に合わせ設定)
- ・空調最適温度管理
- ・常時稼働エアコン温度変化の監視(HOBO、オムロン)
- ・写真部明室、製版部コーティング室エアコンの夜間、休日停止による品質管理
- ・品質改善、作業効率UP

## 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

前期より大幅に使用量が増え目標未達成となりました。目標に対しての実績が大きくかけ離れていたため現実的な目標とするため2月に目標の見直しをしました。目標は未達成となっていますが来期は12期目標から0.4%削減とし年間を通して取り組みを継続します。

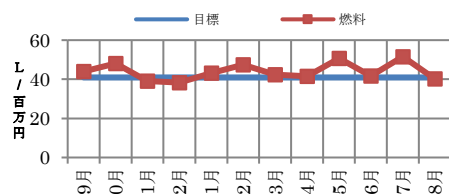
## ■ 二酸化炭素排出量・自動車燃料における削減

判定：△

中長期目標 基準年 11期 41.3L/百万円  
(製版、写真、一部商品売上)

12期	13期	14期
40.3	41.3	41.3

13期実績 44.0L/百万円(月)



## 【取組内容】

- ・効率的な営業活動と配送
- ・燃費の良い車の有効利用
- ・アイドリングストップ
- ・急加速急発進の防止

## 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

営業範囲の拡大、コロナウイルス感染症の影響により売上げが落ち込み目標未達成となりました。次期目標については、効率的な営業活動と配送に取組み現状を維持します。

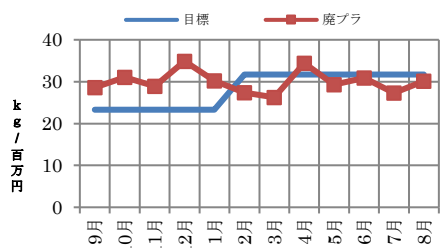
## ■ 廃棄物分別・削減

判定：○

中長期目標 基準年 11期 23.3kg/百万円  
(製版売上)

12期	13期	14期
31.8	23.3	23.3
見直し	31.7	31.6

13期実績 29.4kg/百万円



## 【取組内容】

- ・廃棄物計量の徹底
- ・リサイクル品の徹底
- ・グリーン購入、調達を検証(仕入れメーカーへの納入形態の簡素化、納入資材のリサイクル使用の要望、要請)

## 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

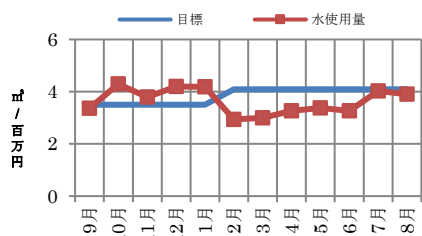
前期より廃棄物対象を産業廃棄物と変更したため大幅に廃棄物が増え目標に対し実績が大きくかけ離れていたため2月に目標の見直しをしました。見直し後は目標達成しました。次期目標は12期目標から0.4%削減とし年間を通して取り組みを継続します。

## ■ 水使用量の削減

判定：○

中長期目標 基準年 11 期 3.12 m<sup>3</sup>/百万円  
(製版、写真売上)

12 期	13 期	14 期
4.1	3.12	3.12
見直し	4.09	4.08

13 期実績 3.39 m<sup>3</sup>/百万円

## 【取組内容】

- ・製版部不良率の低減
- ・製版部前処理洗浄の見直し
- ・前処理作業の統一
- ・写真部フィルム不良率低減
- ・設備水漏れ点検実施
- ・節水

## 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

品質改善の取り組みにより製版部の前処理方法の変更により使用量が増え目標に対し実績が大きくかけ離れていたため 2 月に目標の見直しをしました。見直し後は目標達成しました。作業変更などによる増減があった場合見直しをします。次期目標は 12 期目標から 0.4%削減とし年間を通して取り組みを継続します。

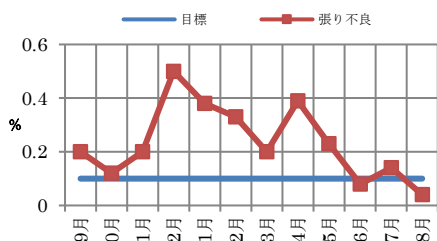
## ■ 製版部不良率削減(張り加工)

判定：△

中長期目標 (基準年 11 期 0.1%以下) %

12 期	13 期	14 期
0.09	0.1	0.1

13 期実績 0.23% (月平均)



## 【取組内容】

- ・枠の良悪し選別
- ・張り機スクリーンコーナー部緩め徹底
- ・ボンド塗布時浮き押さえ
- ・版、取扱注意
- ・スクリーン種類別強度の教育
- ・新人教育により過去の同類不良発生の撲滅

## 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

人員入れ替え時の新人教育で過去の不良再発がないようポイントを明確にし、研修生に分かるように説明し理解させて作業をスタートさせました。剥がれ不良が多発した月が続き目標未達成となりました。特定の版の剥がれが多いため、枠の置き方、ボンドの塗り方の再指導をし、後半には改善出来てきました。次期目標現状維持で取り組みを継続します。

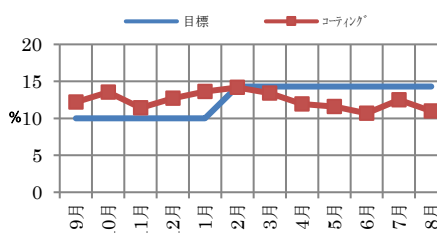
## ■ 製版部不良率削減(コーティング)

判定：○

中長期目標 (基準年 11 期 10.0%以下) %

12 期	13 期	14 期
14.4	10.0	10.0
見直し	14.3	14.2

13 期実績 12.17% (月平均)



## 【取組内容】

- ・品質改善
- ・コーティング室へのゴミ、ホコリの持ち込み防止
- ・コーティング前ゴミ、ホコリのハンドクリーナーによる確実な除去
- ・バケツ先端乳剤の確実な拭き取り
- ・定期交換品の管理、交換

## 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

前期より引き続き品質向上を第一に品質改善の取り組みを継続していますが目標に対する実績が大きくかけ離れていたため 2 月に目標の見直しをしました。見直し以降は目標達成しました。室内環境の設定の見直し、コーティング入室時のエアシャワー、ゴミ取りローラーによる防塵着のゴミ取り、前処理方法の変更、コーティング前の版のハンドクリーナーによる確実なゴミ取りなど室内、機械の清掃の取り組みを継続し次期目標は 12 期基準に 0.4%削減とし年間を通して取り組みを継続します。

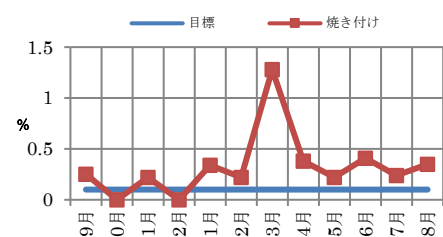
## ■ 製版部不良率削減(焼き付け)

判定：△

中長期目標(基準年11期0.1%以下) %

12期	13期	14期
0.54	0.1	0.1

13期実績0.32%(月平均)



## 【取組内容】

- ・人員入れ替え時の確実な教育の実施
- ・込まない運動実施
- ・PS版ゴミの確実な確認
- ・注文書、フィルム膜面、版種の確認
- ・決めたことを守って確実な作業をする

## 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

ゴミ付着が主な原因として不良が発生し目標未達成となりました。特に3月にはゴミ付着不良が7枚と多発してしまいました。作業標準に沿った確実な作業を徹底させ、作業交代時には特に教育を徹底し、不良撲滅に取り組みます。次期目標は現状維持で取り組み継続します。

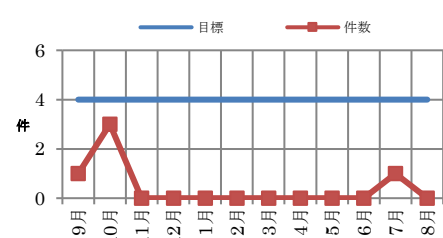
## ■ 写真部指摘不良低減(データ編集)

判定：◎

中長期目標(基準年11期4件以下/月) 件

12期	13期	14期
0.42	4	2

13期実績0.33件(月平均)



## 【取組内容】

- ・込まない運動実施
- ・チェックリストに準じた作業方法の遵守
- ・指摘事項、不良発生時の対策会議実施
- ・決めたことを守って確実な作業をする

## 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

指摘不良は通年を通して4件で目標達成できました。個人個人の取組み内容、目標を明確にし、(1つ1つのプロセスの手抜きをしない)を通年のテーマとして取組み良い成果が続いています。次期より目標を2件/月とし、取組みを継続します。

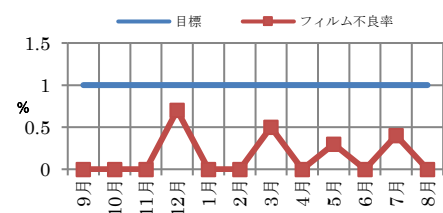
## ■ 写真部フィルム不良率削減

判定：◎

中長期目標(基準年11期1.0%以下) %

12期	13期	14期
1.0	1.0	1.0

13期実績0.16%(月平均)



## 【取組内容】

- ・作画不良、フィルムカットサイズ不良、修正不良の低減
- ・新入社員入社時事前教育により取扱い不良の低減
- ・現像機暗室温度調節による結露対策により不良防止

## 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

目標は前期同様に取組みを継続しました。不良枚数は最小限に抑えられ目標達成できました。取組みを継続し、次期目標は現状維持を継続し状況により見直しが必要な場合見直しをします。

## ■ 化学物質の削減

判定：◎

作業環境の安全性向上(現状維持)



## 【取組内容】

- ・張り作業環境の監視
- ・接着剤混合時防臭マスク着用

## 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

- ・作業環境測定機関(コーエキ)による環境測定実施。(6ヶ月毎)
- 9月・第1管理区分、問題なし
- 3月・第1管理区分、問題なし



■ 事務用品のグリーン購入		判定：◎
事務用品購入時の環境配慮 	<b>【取組内容】</b> ・事務用品購入時グリーン購入対象商品確認後購入  <b>【評価(取組結果と次年度の取組内容)】</b> ・ネット購入時確認後購入 ・仕入れメーカーへの納入形態の簡素化、納入資材のリサイクル使用の要望、要請の拡大	
■ 製品、サービスに関する環境への取り組み		判定：◎
	<b>【取組内容】</b> ・製版部張り作業環境の監視 ・営業活動、配送ルート効率化により燃費の良い車の有効利用  <b>【評価(取組結果と次年度の取組内容)】</b> 前期に引き続き、納品、営業活動に合わせた生産をし時間をベースに物事を進める取組みをしました。良い結果が出てきていますので、人員の配置を管理し更に効率を上げる取組みを継続します。	

### ◆ 環境教育の実施／緊急事態の特定、準備、訓練

当社では環境活動の周知徹底を図るため、環境方針や取組状況を環境掲示板へ掲示するとともに、毎月全体朝礼を実施し、取組結果の報告をして各部署の取組による成果を確認しています。また外国人作業用に、母国語環境方針の翻訳版を掲示し、読み合わせを行い、職場リーダーにより更に理解できるようフォローアップに努めています。その他、第13期に実施した環境教育は下記のとおりです。

教育訓練名称	対象者 実施日	講師・主催	内容	
全社員教育 (全体朝礼)	全社員 (毎月)	社長 環境管理責任者	環境方針の周知徹底 取組結果の報告 各部署の取り組みによる成果確認	
新入社員教育 外国人労働者教育	製版部、写真部 新入社員受入時 2020・2/3、3/11、 3/23	環境管理責任者	環境方針の周知徹底、読み合わせ 環境マニュアルの読み合わせ 各部署における取り組みについての説明	
有機溶剤の取り扱いについて	製版部 (研修生受入時) 2020、3/11	有機溶剤作業主任者	有機溶剤使用時の注意点 (接着剤、シンナーの取扱いについて)	
避難訓練	全社員 (2020/8/11)	環境管理責任者 地域消防経験者	緊急事態対応の訓練 (地震発生を想定し避難訓練)	
漏洩訓練	写真部 (2020/8/11)	環境管理責任者	緊急事態対応の訓練 (漏洩)	

当社では緊急事態対応として、火災、地震、停電、大雨、台風、漏洩の6項目を特定しています。

全従業員に対し、地震発生を想定し、緊急事態対応手順書に基づき、避難訓練を行いました。

外国人作業員へは、(製版職場)小林Lにより、更に理解できるようにフォローUPしました。

大きな地震の場合に備えて、日頃から家族の安否確認方法や帰宅方法も考えておくようにしました。

漏洩訓練では当該部署の社員に対して、緊急事態漏洩訓練の手順書に基づき、実際の緊急事態を想定して新入社員作業員に指導しながら、用具の使用法等理解できるよう説明し訓練できました。有害物質漏洩時の応急処置の実施、地方自治体への届出の必要性を説明して理解を深めました。

## ◆ 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に適用となる環境関連法規は下記の通りです。2020年9月21日、遵守の確認を行い、特に問題はありませんでした。また関係当局よりの違反の指摘は、過去5年間ありません。

適用法	法規制対象	遵守状況
廃掃法	廃棄物管理	○
消防法 諏訪広域火災予防条例	危険物第4類第一石油類 シンナー、ボンド	○
茅野市公害防止条例 (騒音・振動規制)	空気圧縮機	○
下水道法	下水道	○
水質汚濁防止法	チオ硫酸アンモニウム	○
毒物劇物取締法	メタノール	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン、コンプレッサー用ドライヤー	○
労働安全衛生法 (有機溶剤中毒予防規則)	ボンド、うすめ液	○

## ◆ 内部監査の結果

	良かった点	改善すべき点
経営者 環境管理責任者 事務局 推進委員	<p>コロナウイルス感染症対策として社内入室時のアルコール消毒、全体昼礼では手洗いの徹底を促し対策ができた。</p> <p>・製版部、洗浄方法の見直しにより作業効率が上がった。</p> <p>・写真部、前期よりの取り組み継続により紙使用量、指摘不良、フィルム不良の全てで目標が達成できた。</p>	<p>・製版部コーティング不良については2月に目標の見直しをしたため目標達成していますが、再作が前期より更に増え、年間を通しての不良率目標未達成となっている。張り加工、焼き付け工程についても未達成となっています。</p> <p>・品質向上を第一にPDCAに完全・簡潔に取組み、一つ一つのプロセスを怠らず継続的に改善に取り組むこと。</p>
製版部門	<p>・前処理洗浄の洗浄方法の改善により水使用量の削減、コーティング不良についても依然不安定であるが改善してきた。</p>	<p>・すべての工程の不良率改善をするために品質向上を第一にPDCAに完全・簡潔に取組み、一つ一つのプロセスを怠らず継続的に改善に取り組むこと。</p> <p>・時間をベースに計画的に物事を進め、現状を把握して作業員の配置をきちんと管理すること。</p>

<p>写真部門</p>	<p>・前期よりの取り組み継続により紙使用量、指摘不良、フィルム不良の全ての取り組みで目標が達成できた。</p>	<p>・指摘不良点数は月平均 0.33 件で目標達成できています。次期についても指摘不良は 0 根絶を目指して個人個人の取り組み内容、目標を明確にし(一つ一つのプロセスの手抜きをしない)を通年のテーマとして取り組みを継続すること。</p>
-------------	--	---

## ◆ 現場の大きな改善

### 【1.感染症対策として玄関、社員玄関にアルコール設置】



### 【2.製版部前処理洗浄方法の変更】



## ◆ 代表者による全体の評価と見直し

2020年9月20日、代表者による全体の見直しを行い、次の結果が得られました。

### 【環境経営方針】

変更なし。

### 【目標・活動計画の状況】

紙使用量の削減:裏紙は全社、写真部ともに目標達成しました。

自動車燃料の削減:感染症の影響による売り上げ減となり目標未達成。

電力、水使用量の削減:目標に対する実績が大きく乖離していたため2月に目標の見直しをしました。水使用量については目標達成、電力については目標未達成となりました。次期年間を通しての実績で見えていきます。

製版部不良率削減:。目標に対する実績が大きく乖離していたため2月に目標の見直しをしました。不良発生原因を徹底的に追求しPDCAを実行する。改善の状況により目標の見直しをします。取り組みは継続します。

写真部指摘不良低減:指摘不良点数は月平均 0.33 件、目標達成できました。指摘不良は 0 件、根絶を目指して個人個人の取り組み内容、目標を明確にし(一つ一つのプロセスの手抜きをしない)を通年のテーマとして取り組みを継続します。

### 【総括】

- ①時間ベースに物事を進め、作業者の配置も踏まえて管理し効率アップを図ること。適切(具体的)な指示をする
- ②PDCAに完全・簡潔に仕組み、一つ一つのプロセス(過程)を怠らないこと。
- ③仕組みについては指示後決められたことを守って即時実行し結果を報告すること。
- ④データ収集は収集が目的ではなく、データを考察し取り組むことが目的、
- ⑤製造工程の更なる確立・安定・維持を図る。